

令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立萩中小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・各学年、物語文の指導を工夫することで、的確に読み取ることができる児童が増えた。
- ・タブレットを活用し繰り返し練習することで、主語と述語、指示語、連用修飾語などの言葉の学習についての理解を図ることができた。

(2) 課題

- ・文の量や書き方の決まりを守って文章を書く力が不十分である。
- ・語彙の少なさや読書経験の少なさから、登場人物の気持ちを読み取ったり、文構造を理解したりする力が低い。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	目標値より↓		
第5学年	目標値と同程度	目標値と同程度 (第4学年時)	
第6学年	目標値より↓	目標値より↓ (第5学年時)	目標値より↓ (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○漢字の読み書き、言葉の学習に課題が見られる。	○物語の内容を読み取ることができる。 ○説明文の読み取り、自分の考えを明確にして文章を書くことに課題がある。	○自分の考えを文章に書き表したり、相手に伝えたりすることに課題が見られる。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○漢字の読み書きはおおむね理解が見られる。 ○言葉の学習については課題が見られる。	○物語の内容を読み取ることができる ○説明文の読み取り、自分の考えを明確にして文章を書くことに課題がある。	○自分の考えを文章に書き表したり、相手に伝えたりすることに課題が見られる。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○平仮名、片仮名、漢字はミニテストやプリント学習で繰り返し練習し、既習事項の定着を図る。 ○身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うよう指導する。	○書く活動を多く取り入れ、一定の量の文章を書くことに慣れさせていく。 ○伝えたい事柄について、順序を考えて話すことができるよう、例や視点を示しながら指導する。	○学習したことを様々な場面で活用できるよう、発問や単元構成、学習活動を工夫する。 ○読解力や語彙力、想像力等を豊かにするために朝学習等で読書の時間を確保する。

（2）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○漢字はミニテストやプリント学習で繰り返し練習し、既習事項の定着を図る。 ○国語辞典を日常的に使う習慣を作り、他教科等でも活用することで文章の中で使える語彙を増やしていく。 ○語彙力や文章力を高められるよう、単元学習の中で読書環境を整え、様々な図書に親しめるような活動を取り入れる。	○本や新聞等の資料から、中心となる語句や文章を見つけ、要約してまとめたり、それに対する自分の考えをもち、書いたりする活動を取り入れる。 ○ペア学習やグループ活動を取り入れる等、授業の中で考えを交流する機会を増やし、自信をもって考えを表現できるようにする。	○学習したことを様々な場面で活用できるよう、発問や単元構成、学習活動を工夫する。 ○タブレットを活用し、思考を整理したり、友達と意見を交流したりして、学び合うよさを感じ、意欲につなげる。 ○読解力や語彙力、想像力等を豊かにするために読書の時間を確保する。

（3）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○漢字はミニテストやプリント学習で繰り返し練習し、既習事項の定着を図る。 ○本や新聞を読む時間を確保し、文章表現を豊かにしたり、語彙力を伸ばしたりする。	○書き方の例や視点を明確に示し、問題の意図に沿って書いたり、表現したりできるように指導する。 ○ペア学習やグループ活動を取り入れる等、授業の中で考えを交流する機会を増やし、自信をもって考えを表現できるようにする。	○学習したことを様々な場面で活用できるよう、発問や単元構成、学習活動を工夫する。 ○タブレットを活用し、思考を整理したり、友達と意見を交流したりして、学び合うよさを感じ、意欲につなげる。 ○読解力や語彙力、想像力等を豊かにするために読書の時間を確保する。